



やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

「考え方」で最終的には『運命』が変わる？ 新しい一年のスタートに、考えてみよう。

思考に気をつけなさい

それは いつか 言葉になるから
言葉に気をつけなさい

それは いつか 行動になるから
行動に気をつけなさい

それは いつか習慣になるから
習慣に気をつけなさい

それは いつか性格になるから
性格に気をつけなさい

それは いつか 運命になるから
(マザー・テレサ)

左記の言葉は、かの有名なマザー・テレサの言葉です。

思考 → 言葉 → 行動 → 習慣 → 性格 → 運命

このようなサイクルになっているわけですが、なるほどと納得してしまいます。

以前、『私達の物事に対する思考の習慣(考え方)の癖』は、幼い頃からの日々の生活の積み重ねで出来るもの。そして、その際の思考の結果として、「行動」に表れる。幼い頃からの、そうした考え方や判断の仕方、行動の積み重ねで、将来大人になった時の思考や行動の習慣が形成される。』ということを書きました。

「これくらいはいいだろう」という、自己都合で、自分勝手な解釈の、いわゆる甘えた考え方。(思考)



そんな思考をする人は、例えば、時間に関して「少くらい遅れてもいいだろう。」とか、きまりに関して「ちょっとくらいなら守らなくてもいいだろう。」と考えます。そして、それを平気で口にし(言葉にして)、実際にそのように行動してしまうでしょう。

自分のことも振り返ってみななければいけません。こんな方、皆さんの周りにもいらっしゃいませんか？ 待ち合わせに必ず遅刻してくる人。学校や職場にたびたび遅刻してくる人。ゴミの分別をいい加減にする人。ゴミ出しの時間を守らない人。ゴミをあちこちにポイポイ捨てる人。人から借りたものを大切に扱わない人。公共施設を大切に使用しない人。電車やバス、船や飛行機の中で、あるいは公共の場で大声で話す人、携帯電話で話す人等、マナーを知らない人。あいさつなど礼儀が身につけていない人。時や場を考えない言動をする人。学校や会社、社会生活上の決まりや規則を守ろうとしない人。守らなくても平気な人。規範意識の低い人。

最初は、その時だけ、ちょっとだけ、少くらいは・・・と置いていたかもしれませんが、それが、そんなことを繰り返すうちに、それはやがて自分にとっての当たり前、習慣となって、いつもそう考え、そう行動してしまうようになります。「習慣」というのは人生を左右してしまうほどのエネルギーを秘めています。そうやって行動することを継続していると、出来上がっていく性格はいわゆる、物事にルーズ。何事にも締まりがなく、自分を甘やかす、いい加減な性格となりがちなのではないかと思います。(決して断定はできませんが。)

何事にもルーズ、いい加減だと、人間関係にも、仕事にも支障が出てくるのではないのでしょうか。そうすると、それはその人の運命に大きく関わるものとなってしまいます。

「良い習慣」は、人生の「宝物」です。

思考や行動の在り方から、長い時間を重ねて形成される「習慣」。いったん習慣となってしまうと、自分にとってはそれが当たり前のこととなります。それが「良いこと」であればいいのですが、もし悪いことであっても、間違っていると、おかしなことであるということには、既に気づくことができなくなってしまいます。ある意味「怖いもの」だなあと感じます。もちろん完璧な人はいないでしょう。それが普通かもしれません。自分自身を振り返ってみても恥ずかしながら、良くない習慣が身に付いてしまっていると思えることも多々あります。

でも、だからこそ、できれば「良い習慣」が自然と身につくように、子ども達には、幼い頃から、小学生の頃から、善悪の判断等、正しい思考や行動を土台としたより良い日々の生活の積み重ねができるよう心掛けて接し、子育てや子どもの教育に関わりたいものですね。